

ヘルニアの手術を受ける患者さまへ（全身麻酔）

患者氏名	〇	様	病名：みぎ・ひだり 鼠径ヘルニア 症状：膨隆	主治医：〇	印 受け持ち看護師：
月日	1月0日		1月0日		1月1日
項目	手術前日		手術前	手術後	術後1日目・退院日
達成目標	手術について理解できる			創部の異常、頭痛や嘔気などの合併症の症状がない 創部の痛みが軽減できる、または活動が妨げられない	創部の異常、頭痛や嘔気などの合併症の症状がない 日常生活について理解できる
治療・薬剤（内服）	薬剤師が持参薬を確認します 指示のあったお薬は内服してください 21時に下剤を内服します 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します レントゲンがあります		6時または9時に便を出すための座薬を挿入します 指示されたお薬は朝（ ）時まで に飲んでください 点滴を開始します（経口補水液を飲んだ方と9時の手術の方は手術室で行います）	点滴を投与します 指示のある間は酸素の投与を行います 生体情報モニタを装着します 静脈血栓症予防のため足に器械を使用します（歩行ができれば、外します）	毎日、回診で医師が創の診察を行います（病院休診日は多少時間が前後することがあります） 生体情報モニタを外します
活動・安静度	制限はありません 			手術が終わってから3時間後までは、ベッド上安静となります 手術後3時間後からは、看護師見守りでトイレ時と洗面時のみ歩行可能です	医師の診察後、歩くことができます（初回歩行は看護師が助助します） 看護師が体を拭きます 朝から食事開始となります 
食事	夕食後から禁食となります 夕食後以降も、お水・お茶は飲めます 特別な栄養管理の 無		禁食です お水、お茶は（ ）時まで飲めます うがいはできます 	禁食です 術後3時間よりお水、お茶は飲めます	《退院後の生活について》 ・食事：お酒は、次回外来以降に医師に飲んで よいか確認してください ・運動：お腹に力が入るような運動、激しい運動は控えてください ・仕事：通常のお仕事は構いません。力仕事の方は、次回外来時に相談してください ・入浴：手術後1週間はシャワーのみにしてください。それ以降は、創に問題がなければ入浴していただいてもかまいません *創部のテープは、退院2日後にはがしてください。中に貼ってある細いテープは自然にはがれるか、もしくは1週間経過したら入浴中にはがしてください *石けんまたはボディソープで毎日創を洗ってください ・今後は外来で定期的に経過をみます 《以下の症状がある際は外来へ相談してください》 ・創の赤み、腫れ、膿がある ・38℃以上の発熱がある ・持続する嘔気や腹痛がある 
排泄	制限はありません 			手術後3時間後までは、起き上がれませんので、尿意、便意があるときは看護師へご相談ください	
患者様およびご家族への説明	入院・手術について説明します 入浴の前にお臍の処置をします その後、シャワー浴をして体を清潔にしてください 経口補水液と術後に使用する寝巻き（浴衣タイプ）を準備してください 爪の長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルブネイルも落としてください 患者確認のためにIDバンド装着します		肺炎予防のために歯磨きをしてください 指輪・時計・めがね・コンタクトレンズ・義歯などや金属類で外れるものは外してください 血栓予防のストッキングを着用します 貴重品の管理はご家族でお願いします 	術後は看護師が適宜伺います 何かありましたら遠慮なく申し出てください	

注1 場合によっては内容を変更することがあります

2026.8.25 036004

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

年 月 日 患者氏名

（代理人の場合）代理人名

（続柄）